

送 辞

柔らかい日差しに誘われるように、木々が淡い色の花を咲かせている今日、この良き日に早稲田大学を卒業された皆様、並びに大学院を修了された皆様、誠におめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方の心はこの応用化学科での思い出で満ちていることでしょう。入学した時のこと、知友とともに試験勉強に励んだ時のこと、実験や研究に全力で取り組んだ時のこと。はたまた夜通し飲み明かした時のことでしょうか。期限超過寸前のレポートを書いている時のことかもしれません。ここで経験された出来事のすべてが皆様の大切な記憶となっていたことでしょう。

これまでの私達の大学生生活は、先輩方の支えで成り立っております。実験科目や専門科目ではFAとして丁寧にご指導いただきました。サークルや委員会活動では我々後輩に寄り添い、成功へと導いてくださいました。悩みを打ち明けると、優しく励ましてくださいました。時間もあれば、的確にアドバイスしていただいたこともありました。先輩

方への感謝の念は筆舌に尽くしがたいものです。明日からは我々在校生が後輩の支えとなるべく、より一層努力を重ねてまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症禍で始まった皆様の応用化学科での生活は、まさに混沌そのものであったことは想像に難くありません。それでもオンライン会議システムの活用にみられるようにこの状況を的確に捉え、利用し、そして挑戦することによって養った創造力は世界の未来を形作るとして、研鑽を重ねてまいります。

最後になりましたが、今日ここにおられる先輩方が応用化学科で培った「役立つ化学 役立つ化学」の理念を胸に、知識を社会の課題解決に昇華させ続け、やがて理想の光を仰ぎ見ることがを心からお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。本日は誠に卒業おめでとうございます。

二〇二四年三月二十六日

在校学生代表

北村